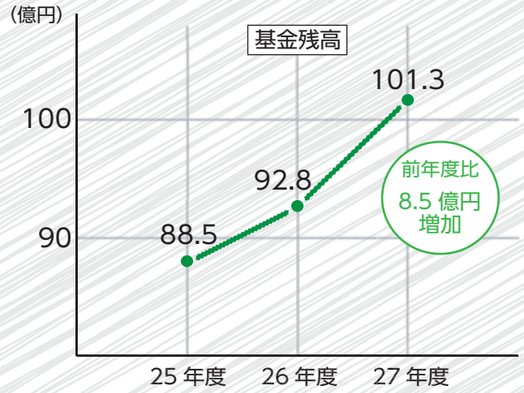
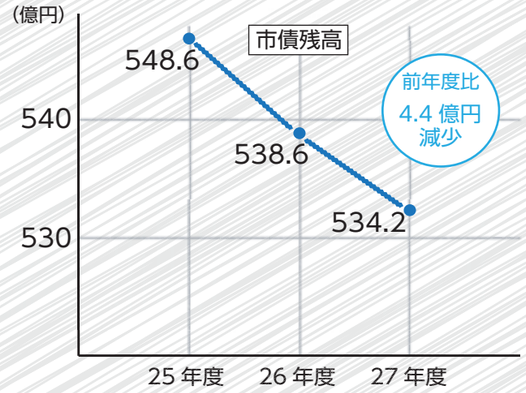
西脇市の平成27年度決算

西脇市の平成27年度決算がまとまりましたので、一般会計、特別会計、企業会計の状況についてお知らせします。また、基金や市債の残高、健全化判断比率についても公表します。
■問合せ　財政課（市役所内線387）

平成27年度末の基金・市債の残高





西脇市の基金残高（貯金）は、101億3,397万５千円で、前年度末に比べて８億5,352万４千円増加しました。一方、市債残高（借金）は、４億4,089万円減少しました。市債残高のうち、合併特例債および緊急防災・減災事業債で70％、臨時財政対策債で100％が交付税措置されますので、一般会計では、190億5,990万１千円のうち実質的な市の負担額は約60億円となります。

一般会計にかかる市債残高
約190億円

市の実質的負担
60億円

合併特例債や緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債で国から交付税措置

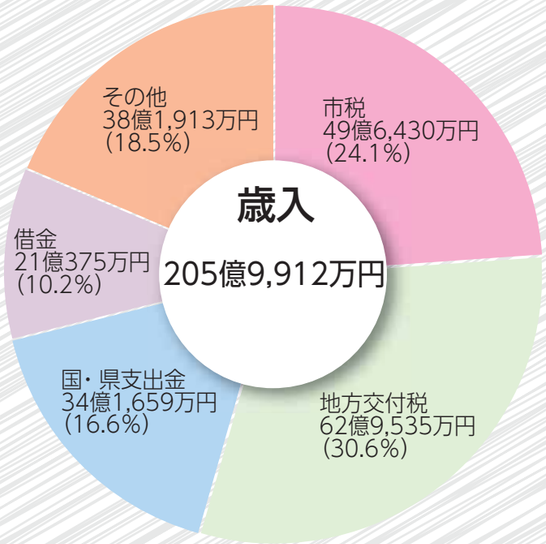
西脇市の健全化判断比率

項目	平成27年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.07%	20.00%
連結実質赤字比率	—	18.07%	30.00%
実質公債費比率	7.8%	25.00%	35.00%
将来負担比率	30.7%	350.00%	
		この数値を上回ればイエローカード	この数値を上回ればレッドカード

地方公共団体は健全化判断比率により、「健全段階」「早期健全化段階」「財政再生段階」の３段階に区分されます。西脇市は平成27年度決算において、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のいずれの指標も「健全段階」となっています。また、企業会計においても前年に引き続き、資金不足は発生していません。

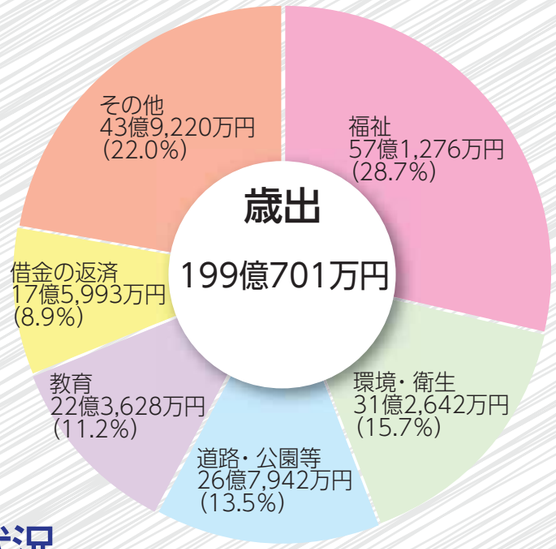
西脇市はいずれの指標も
健全を維持

平成27年度一般会計決算



実質収支は11年連続黒字

一般会計は、歳入総額205億9,912万円、歳出総額199億701万円で、翌年度への繰越財源１億2,414万円を除いた実質収支額は、５億6,797万円となりました。



平成27年度会計別決算の状況

会計		歳入	歳出	差引額
一般会計		205億9,912万円	199億　701万円	6億9,211万円
特別会計	国民健康保険	57億1,333万円	56億9,145万円	2,188万円
	学校給食センター	3億1,093万円	3億1,093万円	0円
	老人保健施設	3億9,805万円	4億3,570万円	△3,765万円
	公営墓地	410万円	410万円	0円
	介護保険	41億2,929万円	40億9,829万円	3,100万円
	茜が丘宅地供給事業	6,723万円	6,723万円	0円
	後期高齢者医療	5億1,501万円	5億209万円	1,292万円
	太陽光発電事業	3億6,756万円	3億6,756万円	0円
企業会計	水道事業	10億7,284万円	10億5,740万円	1,544万円
	簡易水道事業	5,170万円	5,404万円	△234万円
	下水道事業	22億6,513万円	22億3,411万円	3,102万円
	病院事業	78億5,639万円	79億2,178万円	△6,539万円

特別会計は８会計合計で、歳入総額115億550万円、歳出総額114億7,735万円となりました。老人保健施設特別会計において、3,765万円の赤字となったため、翌年度歳入繰上充用を行い、収支の均衡を図りました。